

第 65 回弘明寺サロン開催報告

日 時 2018 年 1 月 12 日 (土) 13 : 30~16:45

場 所 神奈川学習センター第 3 教室

今回のサロンは、少し趣向を変えまして、第 1 部は映画観賞会、第 2 部は映画の感想とともに参加者から第 2 次世界大戦の自らの体験を語るフリートーキングの構成としました。

第 1 部 映画観賞会 「この世界の片隅で」

このアニメの原作はこの史代さんですが、徹底した原作追及、資料探求、現地調査、ヒアリングを積み重ね、舞台となっている広島県呉市で第 2 次大戦下のヒロインすずの生きた世界をやや抑制的に描写しながら、無辜の民が蒙る戦争の悲惨さを訴えていました。

この作品は公開当初はあまり話題になっておりませんでした。評判がじわじわと全国的に広がり、異例のロングランとなりました。

なお、あまり知られておりませんが、この文代さんは放送大学の卒業生で、放送大学のキャラクター「まなびー」は河野さんの作品です。

第 2 部 フリートーキング「私の戦争体験を語る」

石橋正彦さん（神奈川同窓会副会長）の司会進行で、参加者から自らの戦争体験を語っていただきます。

在住していた場所はまちまちでしたが、年齢的にはほぼ当時 4、5 歳の方が多かったです。

○空襲

* 当時四谷荒木町に住んでいたが、1945 年 5 月 25 日の B29 470 機の空襲を体験した。我が家の防空壕ではだめだということで、前家の料亭の防空壕に避難し、命拾いをした。

(寺村紀美夫さん)

* 富山市に在住。防空壕に保存食として梅干しがおいてあった。富山市の大空襲では防空壕に避難した人が B29 の焼夷弾にやられ、多数の死者という悲しい思い出がある。(勝山悌治さん)

* 三重県に在住。京阪神を空爆した後、基地に帰投する爆撃機が紀伊半島の森林に不要物を投棄したため、山火が発生した。(植地勢作さん)

* 江戸川区に在住、東京大空襲を体験。防空壕に水が保管されていたのを覚えている。(山田和壽子さん)

○防空壕

* 千葉県九十九里に在住。この地区は少し掘り下げると水がわいてきて深い防空壕は作れなかった。(大木陸夫さん)

* 茨城県在住。防空壕はコンクリート製だった。日立製作所の工場が爆撃され、空が真っ赤に染まったのを思っている。(家田禮さん)

○食糧難・買い出し

- * 山梨県に買い出しにいった。贅沢は言っておられなかったので、今でも好き嫌いなく何でも食べられる。(石橋正彦さん)
- * 闇米の摘発の現場を目撃したことがある。(大木陸夫さん)
- * 母が着物とお米を交換していた。(家田禮さん)
- * 東京で被災後、埼玉県小川町の親戚に疎開した。お寺の畑を借りて陸稲、サツマイモを作った。(寺村紀美夫さん)
- * 船橋にお米、サツマイモの買い出しに行った。ジャガイモのお昼ご飯。ジャガイモにエグ味があった。(山田和嘉子さん)
- * 神奈川県在住。田舎だったので、山北町から食料を得ることができた。配給?のイルカを食べた。(村田カズ子さん)

○その他

- * 母方の親戚が沖縄で戦死した。昨年沖縄を訪問し、県別に亡くなった方を列記している石碑から叔父の名前を発見した。(植地勢作さん)
- * アメリカ旅行の際、B29 の実物を見た、巨大な機体で乗員は 10 名。乗員を敵（日本）の銃弾から守る配慮ができていた。(勝山悌治さん)

今回の発表では、当時の年齢が入学前のため。学童疎開の報告はありませんでした。

発表されたに皆様、ありがとうございました。

参加者 33 名

弘明寺サロン担当 高橋照夫